



## 2024年3月期 第1四半期決算短信[日本基準](連結)

2023年7月28日

上場会社名 株式会社 帝国ホテル 上場取引所 東  
コード番号 9708 URL <https://www.imperialhotel.co.jp>  
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)定保英弥  
問合せ先責任者 (役職名)経理部長 (氏名)鈴木龍太 (TEL)03-3504-1111  
四半期報告書提出予定日 2023年8月4日  
配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	12,472	32.2	747	—	804	—	789	—
2023年3月期第1四半期	9,434	63.0	△551	—	△75	—	△88	—

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 970百万円 (—%) 2023年3月期第1四半期 △65百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	13.31	—
2023年3月期第1四半期	△1.49	—

(参考) EBITDA 2024年3月期第1四半期 1,431百万円 2023年3月期第1四半期 662百万円  
(EBITDA=経常利益+支払利息+減価償却費)

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	60,037	40,495	67.5
2023年3月期	61,743	40,000	64.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 40,495百万円 2023年3月期 40,000百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
2024年3月期(予想)	—	4.00	—	4.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

当社は、2023年10月1日を効力発生日として1株につき2株の割合で株式分割を実施する予定であるため、2024年3月期(予想)の期末の1株当たり配当金については、株式分割の影響を考慮しております。  
株式分割を考慮しない場合の2024年3月期(予想)の期末の1株当たり配当金は8円となり、年間の1株当たり配当金は12円となります。  
詳細については、同日開示しております「株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	24,350	30.9	150	—	300	—	250	83.6	2.11
通期	52,700	20.4	1,650	374.0	2,050	24.0	2,000	2.5	16.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2024年3月期の連結業績予想における1株当たりの当期純利益については、株式分割の影響を考慮しております。  
株式分割考慮前に換算した連結業績予想における1株当たりの当期純利益は、第2四半期(累計)は4円21銭となり、通期は33円71銭となります。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	59,400,000株	2023年3月期	59,400,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	75,988株	2023年3月期	75,988株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	59,324,012株	2023年3月期1Q	59,324,012株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている将来に関する記述は当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 当社は、2023年7月28日開催の取締役会において、2023年10月1日を効力発生日として1株につき2株の割合で株式分割する旨の決議をしております。これに伴い、業績予想の1株当たりの当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。詳細については、同日開示しております「株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各種政策の効果もあり、雇用・所得環境が改善する中で、緩やかな回復が見られました。しかしながら、ウクライナ危機など不安定な国際情勢に対する懸念は継続しており、原材料・エネルギー・資材の高騰などによるあらゆるコストの上昇もあり、先行き不透明な状況が続いております。

ホテル業界におきましては、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが5類となるなど社会活動の正常化が進み、法人需要の回復は緩やかであったものの、国内旅行客や円安による訪日外国人客の増加など個人需要の回復が見られました。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、「中長期経営計画 2036」のフェーズⅠの最終年として、コロナ禍後の消費動向を注視し、期待される国内の反動消費や回復途上にある訪日外国人需要を取り込むなど、グループ一丸となって集客と売上の向上に全力を注いでまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は前年同期比32.2%増の12,472百万円、営業利益は747百万円、経常利益は804百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は789百万円となりました。

また、「中長期経営計画 2036」でも定量目標の一つとしておりますEBITDA（経常利益＋支払利息＋減価償却費）については、前年同期比116.2%増の1,431百万円となりました。

セグメントの業績におきましては、ホテル事業の売上高は前年同期比36.7%増の11,798百万円、営業利益は1,002百万円となり、不動産賃貸事業の売上高は前年同期比15.9%減の675百万円、営業利益は前年同期比32.2%減の227百万円となりました。

なお、当社グループが営むホテル事業は、第1四半期及び第3四半期に宿泊及び宴会需要が強く、売上高が多く計上される傾向があります。しかしながら、2020年度から2022年度は、新型コロナウイルスの世界的な感染の影響により、例年の傾向とは必ずしも一致しない場合があります。

### （2）財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べて2.8%減少し60,037百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて3.6%減少し33,560百万円となりました。これは有価証券の減少などによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.7%減少し26,476百万円となりました。これは有形固定資産の減少などによるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて8.5%減少し9,722百万円となりました。これは賞与引当金の減少などによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べて11.7%減少し9,818百万円となりました。これは建替関連損失引当金を流動負債に振替えたことなどによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて1.2%増加し40,495百万円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などによるものであります。

### （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月11日に発表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、現時点において変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,329	15,115
売掛金	3,022	2,816
有価証券	18,908	14,209
貯蔵品	778	849
その他	773	574
貸倒引当金	△5	△5
流動資産合計	34,807	33,560
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,547	7,151
その他（純額）	6,693	6,772
有形固定資産合計	14,241	13,924
無形固定資産		
投資その他の資産	1,056	1,123
投資有価証券	6,011	5,827
その他	5,625	5,601
投資その他の資産合計	11,637	11,428
固定資産合計	26,935	26,476
資産合計	61,743	60,037
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,106	1,018
未払法人税等	159	35
未払費用	1,645	1,540
前受金	875	963
預り金	2,703	2,599
賞与引当金	885	308
建替関連損失引当金	-	1,326
その他	3,253	1,929
流動負債合計	10,628	9,722
固定負債		
退職給付に係る負債	6,806	6,810
資産除去債務	1,017	1,020
長期預り金	1,510	1,459
建替関連損失引当金	1,326	-
その他	453	528
固定負債合計	11,114	9,818
負債合計	21,743	19,541

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,485	1,485
資本剰余金	1,378	1,378
利益剰余金	36,353	36,668
自己株式	△89	△89
株主資本合計	39,127	39,442
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	937	1,113
退職給付に係る調整累計額	△64	△60
その他の包括利益累計額合計	872	1,053
純資産合計	40,000	40,495
負債純資産合計	61,743	60,037

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	9,434	12,472
材料費	2,124	2,458
販売費及び一般管理費	7,861	9,266
営業利益又は営業損失(△)	△551	747
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	37	10
持分法による投資利益	26	13
雇用調整助成金	269	1
新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金	89	-
その他	48	28
営業外収益合計	476	57
営業外費用		
支払手数料	-	0
営業外費用合計	-	0
経常利益又は経常損失(△)	△75	804
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△75	804
法人税、住民税及び事業税	6	3
法人税等調整額	6	12
法人税等合計	13	15
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△88	789
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△88	789

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△88	789
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16	174
退職給付に係る調整額	37	4
持分法適用会社に対する持分相当額	1	2
その他の包括利益合計	23	181
四半期包括利益	△65	970
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△65	970



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

I 前第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ホテル 事業	不動産 賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,633	801	9,434	—	9,434
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	2	2	△2	—
計	8,633	803	9,437	△2	9,434
セグメント利益 又は損失（△）	△384	335	△49	△502	△551

（注） 1 セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ホテル 事業	不動産 賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,798	673	12,472	—	12,472
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	2	2	△2	—
計	11,798	675	12,474	△2	12,472
セグメント利益	1,002	227	1,230	△483	747

（注） 1 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。